

## ■ ヒアリ関連情報

6月以降、国内でのヒアリ確認情報が相次ぎ、一気に国民的関心事となりました。当社では、以前より、ES事業部門が各種害虫防除を実施しており、研究開発センターにおいては、各種害虫の研究を行っております。

国内におけるヒアリ確認情報とあわせて、当社の取り組みについて、ご紹介します。

### 1. 国内でのヒアリ確認の経緯

現在、12都府県で24事例、ヒアリが確認されています(2017年11月13日現在・環境省発表)。

■平成29年国内におけるヒアリ確認情報(発表日と確認場所)  
環境省ホームページより <http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/fireant.html>

6/13 兵庫県尼崎市	7/25 大分県中津市	9/6 神奈川県横浜市
6/18 兵庫県神戸市	7/27 福岡県福岡市	9/15 福岡県北九州市
6/30 愛知県弥富市	8/4 愛知県弥富市	9/20 岡山県笠岡市
7/4 大阪府大阪市	8/9 岡山県倉敷市	10/3 愛知県弥富市
7/6 東京都品川区	8/17 埼玉県狭山市	10/6 神奈川県横浜市
7/10 愛知県飛鳥村・春日井市	8/25 広島県広島市	10/14 京都府向日市
7/14 神奈川県横浜市	8/28 静岡県静岡市	11/6 静岡県浜松市
7/21 福岡県福岡市	9/1 愛知県名古屋	11/9 広島県呉市

### 2. 当社における取り組み

ヒアリの疑いがあるアリを発見した場合は、都道府県の環境部局への連絡が大前提ですが、当社においても、ヒアリ調査等のニーズにお応えする体制を整えています。

また、ヒアリについては、国内での情報が少ないため、台湾のヒアリ駆除業者の視察を行いました(8月)。

害虫防除の一環として、ヒアリ調査・防除のノウハウの構築を図ってまいります。

#### 探知犬によるヒアリ搜索



ヒアリの巣を見つけ、しゃがんで知らせる探知犬。

#### バギー車によるペイト剤の散布



噴霧したペイト剤(毒餌)を、ヒアリが巣に持ち帰って死滅。

#### ポテトチップスによるモニタリング



油を好むヒアリは、すぐにポテトチップスに寄ってくる。

#### 巣への薬剤注入処理



巣の中に、薬剤を噴射して、駆除。



## 【会社概要】(2017年9月30日現在)

商号	株式会社サニックス
本社	福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号
設立	1978年9月
資本金	140億4,183万円
従業員数	1,742人(連結) ※サニックス単体1,571人

株主メモ	
事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会議決権の基準日	毎年3月31日
剰余金配当の基準日	毎年3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324 (通話料無料)
上場証券取引所	東証一部、福証
公告の方法	電子公告 公告掲載URL <a href="http://sanix.jp">http://sanix.jp</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

#### (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(みずほ信託銀行)にお問い合わせください。なお、みずほ信託銀行及びみずほ証券全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行及びみずほ銀行本支店でお支払いいたします。

## 株式会社サニックス

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号  
TEL.092-436-8870  
URL.<http://sanix.jp>

# SANIX

## 株主通信

第40期第2四半期累計期間  
平成29年4月1日から平成29年9月30日まで

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、サニックスの事業へのご理解とご支援を頂き、厚く御礼申し上げます。

当社グループでは、太陽光発電事業の市場環境縮小を背景に作成した「中期経営計画(2016年度-2018年度)」に基づき、経営改革を進めております。当計画の初年度にあたる前連結会計年度は、人員削減、店舗統廃合等の経営合理化による基盤強化に注力いたしました。

計画2年目の当連結会計年度におきましては、「SE・HS・ES事業統括本部」の新設をはじめとする組織改編を行うとともに、事業部間の人員異動を実施し、事業運営の効率化を図ってまいりました。これら営業体制の強化によって、HS(ホーム・サニテーション)事業部門及びES(エスタブリッシュメント・サニテーション)事業部門が増収したことに加え、環境資源開発事業部門における新電力事業の拡大もあり、当第2四半期連結累計期間は、グループ全体で、計画を上回る増収及び営業増益となりました。一方、経常損益及び親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、店舗統廃合に係る雑損失等の計上により、計画を下回る結果となりました。

引き続き、「次世代へ快適な環境を」をキーワードに、「再生可能エネルギーの普及拡大」、「産業廃棄物の確実な処理・リサイクル」、「人が暮らし、集う空間の快適環境づくり」など、エネルギー事業と環境衛生事業の推進により、持続的な業績向上に努めてまいります。

今後とも、変わらぬご支援を賜りますよう、心より、お願い申し上げます。

平成29年12月



株式会社サニックス  
代表取締役社長

宗政寛

## 事業概況

当第2四半期連結累計期間における売上高につきましては、SE(ソーラー・エンジニアリング)事業部門は減収となりましたが、HS(ホーム・サニテーション)事業部門及びES(エスタブリッシュメント・サニテーション)事業部門、並びに環境資源開発事業部門の増収により、グループ全体で24,162百万円(前年同期比2.2%増)となりました。利益面では、苫小牧発電所の法定点検及び修繕工事による費用負担が大きく、環境資源開発事業部門が減益となりましたが、他の3事業部門の収益性が改善し、全体で138百万円の営業利益(前年同期比33.9%増)となりました。一方で、為替差損及び店舗統廃合による雑損失の計上等により29百万円の経常損失(前年同期は202百万円の経常利益)、155百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失(前年同期は146百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

事業部門ごとの状況は、次のとおりです。売上高は、SE事業部門は減収(前年同期比27.2%減)、HS事業部門は増収(前年同期比38.9%増)、ES事業部門は増収(前年同期比40.0%増)、環境資源開発事業部門は、新電力事業における売電契約先の増加等により、増収(前年同期比29.0%増)となりました。利益面では、SE事業部門は経営合理化の効果により937百万円の営業利益(前年同期比143.3%増)、HS事業部門は749百万円の営業利益(前年同期比46.1%増)、ES事業部門は98百万円の営業利益(前年同期比226.9%増)、環境資源開発事業部門は、57百万円の営業損失(前年同期は577百万円の営業利益)となりました。

### 通期連結業績(前期実績と当期計画)

	2017/3期実績	2018/3期計画	差異
売上高	50,955	47,680	△3,275
SE事業部門	26,225	18,153	△8,072
HS事業部門	6,562	7,857	1,294
ES事業部門	1,033	1,269	235
環境資源開発事業部門	17,133	20,401	3,267
営業利益	1,036	1,210	173
経常利益	907	1,090	182
親会社株主に帰属する当期純利益	416	810	393

△は減少。

### 売上高と営業利益の推移(連結)



## 連結財務諸表

### 損益計算書

項目	前上期 (2016/4~9)	当上期 (2017/4~9)	前通期 (2016/4~2017/3)
売上高	23,651	24,162	50,955
(SE事業部門)	11,972	8,716	26,225
(HS事業部門)	3,319	4,611	6,562
(ES事業部門)	489	685	1,033
(環境資源開発事業部門)	7,870	10,149	17,133
売上原価	16,944	17,476	36,812
売上総利益	6,707	6,685	14,142
販売費及び一般管理費	6,604	6,546	13,106
営業利益(△損失)	103	138	1,036
営業外収益	253	88	208
営業外費用	154	256	338
経常利益(△損失)	202	△29	907
特別利益	—	—	—
特別損失	177	—	177
税金等調整前四半期(当期)純利益(△損失)	25	△29	729
法人税、住民税及び事業税	167	128	309
法人税等調整額	2	△4	3
少数株主利益	1	1	0
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(△損失)	△146	△155	416

### 貸借対照表

項目	前上期 (2016/9末)	当上期 (2017/9末)	前通期 (2017/3末)
資産の部			
流動資産	15,702	15,500	17,522
固定資産	14,095	13,853	14,122
資産合計	29,798	29,353	31,645
負債の部			
流動負債	24,078	23,701	25,586
固定負債	3,456	2,911	3,212
負債合計	27,535	26,612	28,799
純資産の部			
純資産合計	2,263	2,740	2,845
負債純資産合計	29,798	29,353	31,645

### 所有者別株式状況(2017年9月30日現在)

金融機関	6,039千株	12.65%
金融商品取引業者	1,526千株	3.20%
その他法人	11,516千株	24.13%
外国法人等	3,549千株	7.44%
個人その他	25,094千株	52.58%
計	47,726千株	100.00%

※単元未満株式および自己名義株式を除いて集計しております。